

令和4年度定時制課程入学生 教育課程表

教科等	科目	学年		第1学年		第2学年		第3学年	
		クラス		基礎	進学	基礎	進学	基礎	進学
		標準単位数	設定単位数	単位数		単位数		単位数	
国語	現代の国語 ○	2	2	2	2				
	言語文化 ○	2	2		2	2			
	論理国語	4	4			②	②	②	②
	文学国語	4	4			②	②	②	②
	国語表現	4	4			②	②	②	②
	古典探究	4	4			②	②	②	②
地理歴史	地理総合 ○	2	2	2	2				
	地理探究	3	3				③	③	
	歴史総合 ○	2	2			2	2		
	日本史探究	3	3					③	③
	世界史探究	3	3					③	③
	公民	公共 ○	2	2	2	2			
	倫理	2	2						②
	政治・経済	2	2			②	②		
数学	数学Ⅰ ○	3	3		3	3			
	数学Ⅱ	4	4				④		
	数学Ⅲ	3	3						③
	数学A	2	2				②		
	数学B	2	2						②
	数学C	2	2						②
理科	科学と人間生活	2	2			2	②		
	物理基礎	2	2				②		
	物理	4	4						④
	化学基礎	2	2				②		
	化学	4	4						④
	生物基礎	2	2	2	2				
	生物	4	4						④
保健体育	体育 ○	7	8~10	2	2	4	4	4	2
	保健 ○	2	2	1	1	1	1		
芸術	書道Ⅰ	2	2			②	②		
	書道Ⅱ	2	2					②	②
	音楽Ⅰ	2	2	2	2				
	音楽Ⅱ	2	2					②	②
	美術Ⅰ	2	2			②	②		
	美術Ⅱ	2	2					②	②
外国語	英語コミュニケーションⅠ ○	3	3	3	3				
	英語コミュニケーションⅡ	4	4			④	4		
	英語コミュニケーションⅢ	4	4					④	④
	論理・表現Ⅰ	2	2				②	②	
	論理・表現Ⅱ	2	2				②	②	
	論理・表現Ⅲ	2	2						②
家庭	家庭基礎	2	2		2				
	家庭総合	4	4	2		2			
情報	情報Ⅰ ○	2	2			2	2		
総合的な学習の時間	総合的な探究の時間 ○	3	3~6	2	2	2	1	2	①
学校設定	基礎国語		2	2			②		
	国語演習		2			②	②		
	基礎数学		2	2					
	数学演習		2						②
	理科演習		2						②
	基礎EnglishⅠ 音声表現1		1	①	①				
	基礎EnglishⅡ Laungedge Arts		1	①	①				
	基礎EnglishⅢ 音声表現2		2			②	②		
	英語演習		2						② ②
	情報演習		2						2
○ は必修科目 ● は選択必修科目		予定履修数		24	25	28	30	22	19
特別活動	HR	3	3	1	1	1	1	1	1

1年
2年
3年
○ 数字から追加選択可
○ 数字から8単位以上選択
○ 数字から14単位以上選択
※2学年以降は、次年度の先取り履修を認める場合がある。

令和6年度 高等学校定時制課程使用教科書

教科	種目	発行者	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
	論理国語	東書	精選論理国語	2年文
	文学国語	東書	文学国語	2年文・3年文選
	古典探究	東書	精選古典探究 古文編	2年文・3年文選
	古典探究	東書	精選古典探究 漢文編	2年文・3年文選
地歴	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合	1年
	地理探究	帝国	新詳地理探究	3年文選
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1年
	日本史探究	山川	詳説日本史	2年文・3年文選
	世界史探究	山川	詳説世界史	2年文・3年文選
	地図	帝国	新詳高等地図	1年
公民	公共	帝国	高等学校 公共	2年
	倫理	第一	高等学校 倫理	3年文選
	政治・経済	東書	政治・経済	3年文選
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編数学Ⅰ	1年
	数学Ⅱ	啓林館	新編数学Ⅱ	2年理
	数学Ⅲ	啓林館	数学Ⅲ	3年理
	数学A	啓林館	新編数学A	1年
	数学B	啓林館	新編数学B	2年理
	数学C	啓林館	数学C	3年理選
理科	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文
	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	化学基礎	東書	化学基礎	2年理
	化学	東書	化学 Vol.1 理論編	2・3年理
	化学	東書	化学 Vol.2 物質編	2・3年理
	生物基礎	東書	生物基礎	1年
	生物	東書	生物	3年選
体育	保健体育	大修館	新高等保健体育	1年
			現代高等保健体育	2年
芸術	音楽Ⅰ	教芸	MOUSA 1	2年選
	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	3年選
	美術Ⅰ	日文	高校美術	2・3年選
	書道Ⅰ	東書	書道Ⅰ	2・3年選
外国語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅰ	1年
	英語コミュニケーションⅡ	啓林館	LANDMARK Fit English Communication Ⅱ	2年
	英語コミュニケーションⅢ	数研	COMET English Communication Ⅲ	3年
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression Ⅰ Standard	1年
	論理・表現Ⅱ	啓林館	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope	2年
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
情報	情報Ⅰ	実教	図説情報Ⅰ	2年

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週 2 時間	教材	文学国語 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月～7月	◆【小説】「山月記」 ◆【評論】「言葉を生きる」 ★防災学習 ◆【随筆】「雨月物語」 第一回 定期試験			◆登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 ◆筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深める。 ◆天災に関する資料や作品等を読み、自分の考えを言葉に綴ることで、各自防災への意識を高める。 ◆筆者の考え方の変化を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。				
夏休み									
後期	9月～12月	◆【詩歌】「永訣の朝」宮澤賢治 ◆【小説】「ころ」夏目漱石 第二回 定期試験			◆表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。 ◆人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。				
冬休み									
備考	★ 授業の進度等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★ ※ 定期試験については、各回ともに原則として記載作品の中から単元を選択して出題するものとする。 【第一回 定期試験範囲】 「山月記」／「言葉を生きる」／「雨月物語」 【第二回 定期試験範囲】 「永訣の朝」／「ころ」 ※テストは、学習課題ノートや便覧等事前に指定した副教材からも出題する。また、「新国語問題総演習 四訂版」は自習用テキストとする。								

教科	国語	科目	古典探究	授業 時数		週2時間	教材	東京書籍 精選古典探究	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組									
時期		項目				到達目標				
前期	4月	【古典文法】				用言、助動詞、助詞について学習する。				
	5月	【歌合】『天徳四年内裏歌合』				行事としての歌合を理解する。 二首の短歌を鑑賞する。				
	6月	【枕草子】『宮に初めて参りたるころ』				・文学として確立した随筆の特徴を理解する。 ・宮中での生活と清少納言の性格について理解する。 ・敬語を見極める。				
		第一回定期試験								
夏休み	夏期休暇課題									
前期	9月	【宇治拾遺物語】『伴大納言、応天門を焼くこと』				・歴史的事件を知り、臨場感ある表現を味わう。 ・作品内の描写から、防災について考える。				
		【無名草子】『清少納言』				清少納言の評価を理解する。				
後期	10月	『紫式部』				紫式部の評価を理解する。				
	11月	【漢文】『四面楚歌』				史書『史記』の特徴を理解する。 文脈に即して、内容や登場人物について理解する。 語句や句法を理解し、現代語訳をする。				
	12月	第二回定期試験								
冬休み										
後期										
備考					・第一回定期試験 『天徳四年内裏歌合』『宮に初めて参りたるころ』 ・第二回定期試験 『伴大納言、応天門を焼くこと』『清少納言』『紫式部』『四面楚歌』					

教科	国語	科目	国語演習	授業 時数		週2時間		教材	大学入試 過去問題 プリント等	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組										
時期	項目		到達目標								
前期	4月～6月	・論文作成学習	・思考方法、構成方法等をワークシートにより学習する。								
		・防災学習	・防災関連、災害間関連の文章を読み、自己の意見を小論文で表現する。								
		・評価テスト	・授業内で実施する。								
夏休み											
前期	9月	大学の入試過去問題	・大学入試過去問題に取り組む。								
後期	10月 ～12月	入試対策	・今年度の小論文入試で出題されそうなトレンドに対して対策をする。								
		・評価テスト	・授業内で実施する。								
冬休み											
後期											
試験 範囲	試験は授業内で小論文試験を実施する。										

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	授業 時数	週3時間	教材	詳説世界史 (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	先史の世界・古代オリエント世界			<ul style="list-style-type: none"> ・人類が築き上げた諸文明を学び、それらを基に地域世界を形成したことを把握させる。 ・西アジア世界の地理的特色とオリエント文明の変遷を理解する。 				
	5月	古代ギリシア世界 古代ローマ世界・キリスト教							
		ゲルマン人の侵入・ヨーロッパ世界の形成			<ul style="list-style-type: none"> ・地中海の風土を把握し、ギリシア・ヘレニズム文明の特質を理解させる。 ・ゲルマン人侵入以降の西ヨーロッパについて理解させる。 ・ビザンツ帝国と周辺民族の動向を理解させる。 				
		ヨーロッパ世界の形成と発展							
	6月	ローマ史における大噴火(防災学習)			<ul style="list-style-type: none"> ・大帝国へと発展したローマ文明の変遷や要因について理解させ、衰退の要因となった大噴火について理解させる(防災学習)。 				
7月	第1回定期試験			古代オリエント～ヨーロッパ世界の形成					
夏 休 み		内部推薦試験対策							
前期	9月	西ヨーロッパ中世社会の変容			<ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ世界の変化について理解させる。 				
後期	10月	西ヨーロッパ中世社会の変容			<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界がどのように変化したのかを考えさせ、教皇権などの歴史用語の理解に結び付けさせる。 ・時代背景からヨーロッパ人の世界観について考えさせる。 				
	11月	ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンス・宗教改革							
		ヨーロッパの主権国家体制の形成 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 フランス革命とナポレオン			<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家の誕生と、それに伴う各国間の諸問題に関して考えさせる。 ・フランス革命とナポレオンがヨーロッパ世界に与えた影響に関して考えさせる。 				
	12月	第2回定期試験			ヨーロッパ世界の形成～フランス革命				
冬 休 み									

教科	地理・歴史	科目	地理探究	授業 時数	週3時間	教材	新詳 地理探究 (帝国書院)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	人口、人口問題、村落、都市			<ul style="list-style-type: none"> ・人口の推移の特徴とそこから生じる問題について考えさせる。 ・居住地域の形成の特徴について理解させる。 				
		世界の衣食住(防災学習)			<ul style="list-style-type: none"> ・世界の衣食住の特徴について理解させる。その際、日本の住居や文化と比較を行い、日本と世界の防災と建築の意識の違いについて考えさせる(防災)。 				
	5月	民族・宗教 領土問題			<ul style="list-style-type: none"> ・民族が抱える問題について理解させる。 ・国家が抱える領土問題の内容について理解させる 				
	6月								
	7月	第1回定期試験			人口～領土問題				
夏 休 み		内部推薦試験対策							
前期	9月	中国地理			<ul style="list-style-type: none"> ・中国の地理的特徴について考察・理解させる。 				
後 期	10月	韓国地理 ASEAN諸国の地理 インド地理 西アジア・中央アジア地理			<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の地理的特徴について考察・理解させる。 ・ASEAN諸国の地理的特徴について考察・理解させる。 ・インドの地理的特徴について考察・理解させる。 ・西アジア・中央アジアの地理的特徴について考察・理解させる。 				
	11月	アフリカ地理 ヨーロッパ諸国の地理 ロシア地理 アメリカ地理 オーストラリア地理			<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ諸国の地理的特徴について考察・理解させる。 ・ヨーロッパ諸国の地理的特徴について考察・理解させる。 ・ロシアの地理的特徴について考察・理解させる。 ・アメリカの地理的特徴について考察・理解させる。 ・オーストラリアの地理的特徴について考察・理解させる。 				
	12月	第2回定期試験			中国地理～オーストラリア地理				
冬 休 み									

教科	地理・歴史	科目	日本史探求	授業 時数	週3時間	教材	詳説日本史 (山川出版社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	文化の始まり			旧石器時代、縄文時代の人々の暮らしについて学習する。				
	5月	農耕社会の成立			弥生時代の人々の暮らし、邪馬台国について学習する。				
		古墳とヤマト政権			古墳文化の移り変わり、ヤマト政権の政治・外交・ 人々の暮らしについて学習する。				
	6月	飛鳥の朝廷			推古朝の政治・文化について学習する。				
7月	第一回定期試験			旧石器時代～飛鳥時代					
夏 休 み		問題演習プリント・予習プリント			夏休みの課題				
前期	9月	飛鳥の朝廷			推古朝の政治・文化について学習する。				
		律令国家への道			大化の改新から大宝律令制定までの政治について学習する。				
後 期	10月	平城京の時代			奈良時代の政治・外交、藤原氏の政界進出について学習する。				
	11月	平安王朝の形成			平安時代前期の政治・社会、平安仏教について学習する。				
	12月	第二回定期試験			飛鳥時代～平安前期				
冬 休 み		問題演習プリント・予習プリント			冬休みの課題				
後 期	1月	摂関政治			藤原北家の発展・摂関政治について学習する。				
	2月	地方政治の展開と武士			地方政治・荘園・源氏の進出について学習する。 ※防災学習を実施する。				
	3月	第三回定期試験			摂関政治～源氏の進出				
春 休 み		自宅学習			各自の進度に応じて問題演習を行う				

教科	公民	科目	倫理	授業 時数	週2時間	教材	高等学校 倫理 (第一学習社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	青年期の課題と自己形成 ギリシア思想 ユダヤ教、イスラム教、仏教思想			<ul style="list-style-type: none"> ・青年期特有の問題とそのメカニズムについて考えさせる。 ・各思想の特徴について理解させる。 				
	5月								
	6月	政治思想・政治主義 心の深層意識 構造主義・言語哲学			<ul style="list-style-type: none"> ・過去から存在している世界の政治思想について理解させる。 ・人間が抱える深層意識について理解させ、そこから誕生した様々な学問について理解させる。 				
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み		内部推薦試験対策							
前期	9月	日本固有の思想			<ul style="list-style-type: none"> ・日本に根付く様々な考え方について理解させる。 				
後期	10月	外来思想と日本 日本庶民の思想 西洋思想の伝来			<ul style="list-style-type: none"> ・仏教思想と日本の関係性について理解させる。 ・庶民から生まれた日本の様々な思想について理解させる。 ・西洋思想と日本の関係性について理解させる。 				
		幕末の思想(防災学習)			<ul style="list-style-type: none"> ・幕末期に生まれた様々な思想について理解させる。その際、吉田松陰の松下村塾について取り上げ、本校の防災への取り組みのルーツと結びつける。 				
	11月	生命倫理 環境問題と倫理 科学技術と倫理的課題			<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事例を基に、生物学が抱えている倫理問題について考えさせる。 ・様々な事例を基に、環境問題と倫理学の関係性について考えさせる。 ・様々な事例を基に、科学技術の導入と倫理問題の関係性について考えさせる。 				
	12月	第2回定期試験			日本固有の思想～科学技術と倫理的問題				
冬 休 み									

教科	公民	科目	政治・経済	授業 時数	週2時間	教材	政治・経済 (東京書籍)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校3年(自由選択) 2,4,5,6,7,8組 定時制3-1								
	時期	項目				到達目標			
前期	4月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 第2章 現代日本の経済 第1節 現代の資本主義経済 ①経済社会の意義				・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.80～ ・人はなぜ経済活動を行うのかを考える。			
	5月	②資本主義経済の発展と変容 第2節 現代経済のしくみ ①経済主体と経済の循環				教科書p.80～92 ・資本主義経済の特徴と成立過程、人間の経済活動の歴史について学び、今日の資本主義経済の課題について考える。 ・三つの経済主体の関りを理解する。			
	6月	②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長				教科書p.92～95 ・企業の活動、株式会社のしくみを理解する。 教科書p.96～104 ・市場経済のしくみ、市場の失敗を学ぶ。 ・経済成長の規模や変化、景気変動のしくみについて学ぶ。			
	7月	第1回 確認試験(試験範囲:4～7月までの内容)				・時事問題について理解を深め、実践力を身に着ける			
夏 休 み	7～8月	大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要な応じて対応							
前期	9月	時事問題と教科書内容(経済)の組み合わせで授業を実施 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能				・社会における実例をニュース、新聞記事などを題材に解説、その内容に関する教科書の内容を理解する 教科書p.105～118 ・金融の役割、中央銀行の金融政策を学ぶ。また、政府の財政政策、租税の役割について考える。			
後 期	10月	第3節 日本経済の発展と現状 ①戦後日本経済の発展				教科書p.119～127 ・日本経済について、さまざまな経済政策や世界経済との関りを踏まえて理解する。あ			
	11月	第4節 福祉社会と日本経済の課題 ⑥雇用と労働問題⑦社会保障と福祉				教科書p.142～155 ・労働者の権利や法、働き方について考える。また、日本の社会保障制度を理解し、その課題を探る。			
	12月	第3章 現代日本の諸課題 第2回確認試験(試験範囲:上記単元項目)				教科書p.156～ ・時事問題について理解を深め、実践力を身につける			
冬 休 み		大学入試及び進路関連試験の現代社会・政治経済に関する学習方法の相談に必要な応じて対応				授業では、防災的な視点、災害対策について触れられるようにする。			

教科	数学	科目	数学Ⅲ	授業 時数		週3時間		教材	啓林館 数学Ⅲ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組										
時期	項目		到達目標								
前期	4・5・6・7月	第1章 数列の極限 1. 無限数列 2. 無限級数 第2章 関数とその極限 1. 分数関数と無理関数 2. 関数の極限と連続性 第3章 微分法 1. 微分と導関数 2. いろいろな関数の導関数 第1回定期試験	<p>数列の収束、発散と数列の極限の基本的な性質について理解し、数列の極限を求めることができる。 無限等比数列が収束する条件を理解し、そのことを用いて数列の極限を調べることができる。 無限級数について理解し、その収束、発散を調べたり、無限級数が収束するとき、その和を求めたり、無限等比級数が収束する条件を理解し、その和を求めたりすることができる。</p> <p>分数関数のグラフをかくことができる。 また、分数関数のグラフの特徴を理解する。 無理関数 $y = \sqrt{(ax+b)}$ のグラフをかくことができる。 また、無理関数のグラフの特徴を理解する。 三角関数において弧度法が使用できること。 和を積に積を和に直すこと。 数列・級数の概念を知り、収束、発散、振動を知る。 極限値の計算の活用ができること。</p> <p>微分概念と連続な関数との関係を把握する。 微分法の演算、積・章の微分法、 合成関数の微分法の演算技法を知る。</p>								
夏休み											
前期	9月	第3章 微分法 3. 導関数と関数のグラフ 4. 微分法の応用	<p>曲線の接線の方程式及び法線の方程式を求めることができる。 関数の増減を調べたり、関数の値の変化を調べて、極値を求めたりすることができる。 曲線の凹凸に関する性質を理解する。また、いろいろな関数のグラフの概形をかくことができる。 微分法を用いて、関数の最大値・最小値を求めることができる。</p>								
後期	10・11・12月	第4章 積分法 1. 不定積分 2. 定積分 3. 積分法の応用 第2回定期試験	<p>不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求めることができる。 いろいろな関数の定積分の値を求めることができる。 いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解する。また、その値を求めることができる。</p> <p>防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。</p>								
冬休み											

教科	数学	科目	数学C	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学C	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	第1章 ベクトル 第1節 平面上のベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形			ベクトルを定義しベクトルの計算法則を理解させる。ベクトルの成分表示を定義し基本演算の成分表示が出来るようにする。 ベクトルの内積を定義し内積の成分表示、内積の計算法則を理解させる。 位置ベクトルを定義し、内分点・外分点・三角形の重心・垂心の位置ベクトルを理解させ媒介変数表示とベクトル方程式を理解させる。				
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み	7・8月								
前期	9月	第3節 空間のベクトル			空間の概念を理解させ、座標を用いて2点間の距離を求められるようにする。空間ベクトルも平面上と同じような計算法則が成り立つことを理解させる。内積を定義しベクトルのなす角が成分より求まることを理解させる。				
後期	10・11・12月	第2章 複素平面 第1節 複素平面 第2節 平面図形と複素数 防災学習			空間においても位置ベクトルが定義できることを説明し、直線上と平面上の点の位置ベクトルを求めさせる。 複素数を座標平面上の点で表すことにより、複素数平面を考える。 この平面上で複素数の和や差、実数倍の図形的性質を調べる。 防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
	12月	第2回定期試験							
冬 休 み	12・1月								
後期									
春 休 み	3月								

教科	理科	科目	化学	授業 時数	週4時間	教材	化学Vol.1理論編 化学Vol.2物質編 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	(化学基礎) 3編 物質の変化 3章 酸化還元反応			酸化還元反応の定義を学び、酸素・水素・電子との関係性を理解する。				
	5月	(化学Vol.1理論編) 2編 化学反応とエネルギー 1章 化学反応と熱・光 2章 電池と電気分解			酸化還元反応の応用例である電池と電気分解を学び、電池の種類と用途について学ぶ。また、防災学習として化学反応から取り出せるエネルギーを使用し、ガスや火を使わない食品の温め方を知る。				
	6月	1編 物質の状態 1章 物質の状態 2章 気体の性質 3章 溶液の性質 4章 固体の構造			気体・液体・固体における物質の性質を学び、それぞれの特微的な性質を理解する。				
	7月	3編 化学反応の速さと平衡 1章 化学反応の速さ 第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡 (化学Vol.2物質編)			化学反応が起こるしくみや起こりやすさを反応速度から学び、反応に必要なエネルギーの有無を学ぶ。				
後期	10月	4編 無機物質 1章 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 4章 遷移元素の単体と化合物 5章 金属イオンの分離と確認			周期表をもとに、非金属元素ごと、典型金属元素ごと、の共通性質を学ぶ。 特徴的な遷移金属元素を取り上げ、その単体と化合物における反応と生成方法を学ぶ。 金属イオンの反応の違いを利用し、分離方法を理解する。				
	11月	5編 有機化合物 1章 有機化合物の特徴と構造 2章 炭化水素 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物			有機化合物の特徴、分類の仕方について学ぶ。炭化水素の性質、構造について理解する。構造異性体の違いを構造式などで表せるようにする。 ベンゼンを中心とする芳香族化合物の分類と特徴を学ぶ。芳香族化合物の反応系統を理解する。				
	12月	6編 高分子化合物 1章 高分子化合物とは何か 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物 第2回定期試験			天然高分子である糖類、タンパク質の成り立ち、構造、性質について学ぶ。				
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	理科	科目	生物	授業 時数	週4時間	教材	生物基礎・生物 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目				到達目標			
前期	4月	第1部 生命現象と物質 第1章 生命と物質				細胞内にある器官の名称や役割を学び、生命活動との繋がりを理解する。			
	5月	第2章 代謝				生体内におけるエネルギーの生成を学び、それに伴う化学反応を覚える。			
	6月	第3章 遺伝現象と物質				DNAの複製、RNAの転写から遺伝情報の伝達について学ぶ。			
	7月	第2部 生殖と発生 第1章 有性生殖と染色体の分配 第1回定期試験				メンデルの遺伝の法則を利用し、染色体の分配と遺伝子について学ぶ。			
夏 休 み									
前期	9月	第2章 動物の生殖と発生				動物の発生の過程を学び、各部組織の名称を覚える。			
		第3章 植物の生殖と発生				植物の発生の過程を学び、各部組織の名称を覚える。			
後期	10月	第3部 生物の環境応答 第1章 刺激の受容と反応・防災				各受容体と対応した刺激を学び、それらと関わる神経を学習する。災害時における受容体とその反応から防災・東日本大震災に関する学習と教育を行う。			
	11月	第2章 動物の行動				ヒト以外の動物における特定の行動について学ぶ。			
	12月	第3章 植物の環境応答 第2回定期試験				各環境におけるホルモン受容とその応答について学ぶ。			
冬 休 み									
後期									
春 休 み									

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数		週1時間		教材		種 別		高校	
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組												
時期		項目			到達目標								
前期	4月	学習のねらい			「精神善用・自他協栄」という柔道の精神を学び、その意義を日常生活に生かす態度を養う。基本動作を確実に身につけ、さらに発展させ個々に応じて対人的、技能を図る。また、禁じ技を用いないなどの禁止事項を守り、安全に留意する態度を養う。全て安全最優先で行う。								
	5月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 投げ技→背負い投げ(一本背負い投げ)を含む・大外刈り・足技			【防災教育】安全な経路の確認、自助について学ぶ 投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。								
	6月	約束練習			取は動きながら技に入るタイミングや安全に留意して投げ込みを行う。								
	7月	試験			送足払い・大外刈り 相手に配慮する投げ方・受身の取り方・を評価する。								
夏休み													
前期	9月	投げ技(大内刈り) 背負い投げ・体落とし・大外刈り 復習・応用 自由練習の復習、確認			崩しの原理をしっかりと理解して行う。 投げ込みの練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。								
	10月	投げ技—連絡技 大内刈り→背負い投げ 大内刈り→体落とし			崩しの原理をしっかりと理解して行い、安全に留意して投げる。								
後期	11月	自由練習の復習、応用 試験			自由練習はお互い呼吸を合わせ、取は引き手を引く、受は取が投げやすいように受ける。 授業で習った技の中から技を指定して相手に配慮をする。投げ方・受身の取り方を評価する。								
	12月	自由乱取り			初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。 ルールと禁止技を理解する。								
冬休み													
後期	1月												
	2月												
	3月												
春休み													

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数	週1時間	教材	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組							
	時期	項目			到達目標			
前期	4月・5月	《ガイドンス》 2年次の授業内容・学習のねらい			武道の特性である礼に始まり礼に終わるなどから礼儀正しくお互いに相手を尊重する心を養う。着装、防具のつけ方に留意して身だしなみに気をつける。			
	6月	切り返し 基本打ち…面・小手・胴 小手面・小手胴二段打ち 小手面胴三段打ち			動きの中から正しい姿勢、正しい打ちを身につける。 打突前の集中力と打突後の残心を徹底させる。 正しい姿勢で全身を使って打ち切る。			
	7月	試験			小手面・小手面胴三段打ち			
夏 休 み								
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 木刀による剣道基本技稽古法…基本1・2・3			安全な経路の確認、自助について学ぶ 基本稽古法で礼法・姿勢・間合い・理合い・呼吸を学ばせる。 元立ちと掛手の意味、役割を理解させる。 仕掛け技を覚える。			
	10月 11月 12月	基本4・5・6 試験			引き技・抜き技・擦り上げ技を正しく覚える。 基本1・2・3・4・5・6			
冬 休 み								
後期	1月	基本7・8・9			出ばな技・返し技・打ち落とし技を正しく覚える。			
	2月 3月	試験			木刀による剣道基本稽古法… 基本1～9			
春 休 み								

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	MOUSA 2 (教育芸術社)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
時期	項目				到達目標				
前期	歌唱「ハナミズキ」 歌唱「糸」 歌唱「浜辺の歌」 リズム唱Ⅰ「4分音符のファミリー その1」 リズム唱Ⅱ「4分音符のファミリー その2」 W.A.モーツァルトの生涯と作品 鑑賞「アマテウス」 鑑賞「トッカータとフーガ」 実技試験 筆記試験				歌詞に込められた思いを伝えるように歌唱する。 フレーズの特徴を生かし、表現を工夫して歌唱する。 リズムらしさを会得する。 作曲家の生涯をたどりながら音楽を味わう。 パイプオルガンの構造を理解した上で、響きを味わう。				
後期	歌唱「涙そうそう」 歌唱「夢やぶれて」 歌唱「虹」 鑑賞「白鳥の湖」 鑑賞「春の祭典」 災害時における音のはたらき 実技試験 筆記試験				曲の雰囲気合うように歌い方を工夫して歌唱する。 曲想の変化を感じ取り、豊かな表現で歌唱する。 伴奏との関わりを感じながら歌唱する。 劇中の音楽の特徴を捉えながら、バレエ音楽を味わう。 前衛的な音楽と踊りの関わりと表現を味わう。 防災と音の関わりについて学ぶ。				

教科	芸術	科目	書道 I	授業 時数	週 2 時間	教材	2 東京書籍 書 I 701	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	書写から芸術書道へ。姿勢と執筆法。 基本点画の練習用具用材。漢字仮名交じりの書。さまざまな書。執筆法。表現と鑑賞。 防災の用語を書く。			芸術書道に親しむ。 体験的学習活動を通じて書を愛好する心情を育む。執筆法、姿勢の確認。線の表情の認識。 防災の用語を書くことで、防災に関する意識を高める。				
	5月	漢字の書。書体の変遷。楷書とその古典。唐の四大家。臨書について。表現と鑑賞。			書之美を探る。 基本的用筆と表現方法。臨書の理解。楷書の理解。露鋒、藏法、背勢、向勢の理解。				
	6月	楷書の臨書。表現と鑑賞。唐の四大家。日本の楷書。			それぞれの古典の持つ特徴の理解。拡大表現による表情の違いを認識。				
	7月	楷書の臨書。表現と鑑賞。日本の楷書。			時代背景・特徴をとらえ、様々な表現力を養う。				
夏 休 み		鑑賞。			日常の中での様々な書体を知る。				
前期	9月	行書とその古典。行書の臨書。表現と鑑賞。			それぞれの古典の持つ特徴の理解。				
後期	10月	行書とその古典。行書の臨書。草書、隸書、篆書。			それぞれの古典の持つ用筆法と特徴の理解。				
	11月	草書、隸書、篆書。			様々な書体の特徴を理解し、表現力を養う。				
	12月	仮名の書。平仮名と変体仮名。連綿。 仮名の古典。 表現と鑑賞。			仮名の成立過程の理解。逆入れ、平出し、藏法、八分、50音というは歌の違い。基本線の反復練習。変体仮名の理解。単体の反復練習。				
冬 休 み									
後期	1月								
	2月								
春 休 み									

教科	芸術	科目	美術 I	授業 時数		週2時間		教材	美術(日本文教出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	ロゴ・フォントを学ぶ				日常における観察力の向上。					
		キャラクター・マスコットデザイン				今日におけるミックスメディアの考察。					
	5月	モノクロの表現(自画像をテーマに切り絵)				平面作品の基本となる白黒による表現を体得する。 自画像をとおして自己を見つめ直し、また他者と認め合う。					
	6月	プロダクトの装飾デザイン(螺鈿蒔絵風)				身近に使う物の装飾を自らデザインすることでその効果を体感し考察する。					
7月											
夏 休 み											
前期	9月	防災ポスター制作				自身の防災意識を高め、他者への発信、伝達を達成する。					
後 期	10月	木彫を学ぶ				素材の特性を理解し表現に生かすことができる。					
	11月	マンガ表現を学ぶ				世界的に知られる日本の漫画表現を体験し、より多角的な視点を獲得し考察する力を養う。					
	12月	メッセージアート、言葉を使った美術				言語を表現に使う体験をとおして新たな視座を得る。					
冬 休 み											
後 期											
春 休 み											

教科	英語	科目	英語 コミュニケーション Ⅲ	授業 時数	週4時間	教材	COMET English CommunicationⅢ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
	4月	・Lesson1 Festivals of the World [現在分詞、過去分詞] ・英語検定対策			英文の読解を通してさまざまな知識や情報を得て、それについて自分の考えを深め、英語で表現する。英文の読解においては、意味をかたまりで理解し、要旨をとらえる訓練を積む。单元ごとに確認テストを行い、既習事項の復習を習慣づける。 第1回英語検定の全員受検に向け、各受験級の過去問題の演習を行い合格を目指す。 定期的に、語彙及び重要構文の小テストを行い、知識を定着させる。				
	5月	・Lesson2 Biomimetics [受動態] ・英語検定対策							
	6月	・Lesson3 The Anchoring Effect [完了形] ・Lesson4 Animal Welfare [関係詞]							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			文法・語法の総復習、苦手分野の克服				
前 期	9月	・Disaster Prevention ・Lesson5 Working Styles [関係代名詞what、関係副詞]			防災についての英文を読み、災害に対する考えを深める。ペアまたはグループで災害時の行動について話し合う。				
後 期	10月	・Lesson6 Bobbi Gibb [知覚動詞・使役動詞]			教科書の他に、大学入試問題の文法・語法問題、長文問題もできる限り扱い、英文読解力を高める。引き続き、語彙・構文の小テストも行う。 * 副教材として以下の教材を使用する。 COMET English Communication ベーシックノート				
	11月	・Lesson7 Virtual Water [仮定法]							
	12月	・Lesson8 Resilience [助動詞] 第2回定期試験							
冬 休 み	1月								
後 期	1月 2月 3月								
春 休 み	3月								

教科	英語	科目	英語演習	授業 時数	週2時間	教材	英語総合問題集 TREASURE HUNTⅢ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 3年1組								
	時期	項目			到達目標				
	4月	Unit1 記憶力と携帯電話の関係 文法:時制の総まとめ			大学入試問題を含む、様々なトピックの英文を扱いながら、英文の全体像のつかみ方、設問を解くための手掛かりを各Unitごとに学び、様々なスタイルの英文を読み解く力を身に着ける。また、各Unitの文法を使った英作文や、リスニング、英文の要約も行い、総合的な英語力を養う。 Unit1 言い換え、省略を手掛かりに英文を読む Unit2 キーワードに注目する Unit3 グラフ・表を読み込む Unit4 情報を整理する①				
	5月	Unit2 新聞配達の少年の苦勞 文法:完了形のまとめ							
	6月	Unit3 フェアトレードとは 文法:助動詞の総まとめ							
	7月	Unit4 自転車の進化 文法:受動態 第1回定期試験							
夏 休 み	8月	<夏休みの課題・夏期講習>			Unit5～8については各自で、または夏期講習で取り組む				
前 期	9月	・Disaster Prevention Unit9 スパイの採用試験 文法:関係詞① Unit10 宇宙ゴミ 文法:関係詞②			防災についての語彙を学習したうえで、ペアまたはグループで災害時の行動マニュアルを作成する。 Unit9 言い換えに注目する Unit10 情報を整理する②				
後 期	10月	Unit11 Teach For Pakistan 文法:比較			Unit11 つながれた語句に注目する Unit12 速読 Unit13 段落のつながりをつかむ Unit14 情報を整理する③ Unit15 段落内の構造に注目する				
	11月	Unit12 忘れられない贈り物 Unit13 観望天気とは 文法:仮定法 Unit14 論文の書き方 文法:後置修飾							
	12月	Unit15 日本の新たな観光資源 第2回定期試験							
冬 休 み	1月								
後 期	1月 2月 3月								
春 休 み	3月								